

「脳腫瘍幹細胞株の樹立・資源化および実験利用」 に関する研究に参加していただいた患者さんへ

脳腫瘍のなかでも膠芽腫（こうがしゅ）は未だ予後不良な病気です。予後不良の原因の一つとして浸潤能（がん細胞が周囲の脳組織に広がっていく能力）が高いことが分かっています。我々は脳腫瘍の浸潤に関する研究を行っている中で、浸潤に関与するephrinA2（エフリンA2）という分子に着目しました。私たちは、膠芽腫細胞、手術で得られた脳腫瘍（手術検体）、膠芽腫の親となり得る細胞であるグリオーマ幹細胞を用いてephrin-A2が膠芽腫でどのように働いているかを解析し、その結果を膠芽腫の患者さんの経過と併せて検討します。本研究結果は、ephrin-A2が予後不良な膠芽腫の予後予測に利用可能か検討する有意義な研究です。

なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究域長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

研究の対象は2013年8月から2020年12月までの間に金沢大学で脳腫瘍の手術を施行された方です。この研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら、そのことをお申し出ください。その場合、あなたの資料を研究に供することはありません。

2. 研究の目的について

研究課題名：膠芽腫における新規予後予測バイオマーカーephrin-A2の基礎基盤構築

本研究では、膠芽腫細胞、手術検体、グリオーマ幹細胞におけるephrin-A2の機能について調べます。

3. 研究の方法について

本研究では、膠芽腫細胞、手術で摘出された膠芽腫、グリオーマ幹細胞を用いてephrin-A2がどのような働きをしているか調べます。本研究で用いる膠芽腫は通常の手術の際に採取され、すでに保存されている膠芽腫組織を用います。

収集したデータと解析結果は学会や論文などに発表される事がありますが、個人情報公表されることは一切ありません。

4. 研究期間

この研究の期間は、金沢大学[医学倫理審査委員会](#)の承認日から2026年6月30日までです。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- ・腫瘍細胞のephrin-A2の発現に関する情報、膠芽腫の患者さんの臨床経過

試料：

- ・樹立された膠芽腫の幹細胞

6. 外部への試料・情報の提供・公表

例：診療時のデータを利用する場合の揭示文書（2017.4.）

収集されたデータは学会や論文などに発表されます。

7. 予想される利益と不利益について

この研究はすでに採取された膠芽腫の細胞と予後に関する情報を用いた研究であり、この研究に参加してもあなたに直接の利益はありません。また、不利益もありません。しかし、個人情報の流出の可能性が全くないわけではありません。データの取扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

8. プライバシーの保護について

この研究はすでに得られている情報を用いるため、新たに個人情報を扱うことはありません。なお、診療記録より得た情報については、これまで実施してきたと同様、研究に用いる情報に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。また、これらの情報は鍵のかかる机に保管し、個人情報が流出することがないように、細心の注意を払います。また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、患者個人情報などが公表されることは一切ありません。

9. 研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用等の負担はありません。

10. 研究組織

研究責任者：金沢大学 脳・脊髄機能制御学 教授 中田 光俊

研究分担者：金沢大学 リハビリテーション科学領域 助教 中嶋 理帆

11. 研究への不参加の自由について

あなたの情報が当該研究に用いられることについて、御家族・代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2025年12月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

12. 研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたい場合は、ご遠慮なくいつでもお尋ねください。

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系

研究責任者：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）

問合せ窓口：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）

住所：金沢市宝町13-1

例：診療時のデータを利用する場合の掲示文書（2017.4.）

電話：Tel: 076-265-2384 Fax: 076-234-4262